

シリウスビジョン再建計画と事業戦略

シリウスビジョン株式会社
辻谷 潤一

2025年 11月 14日

目次

シリウスビジョンのミッションとビジョン

- モノづくり現場における目視検査ゼロをめざす理由
- オンリーワン画像検査技術

シリウスビジョン再建計画(Sirius Restructuring Plan)

- 特殊印刷機関連事業の譲渡と画像検査関連事業への選択と集中
- 研究開発投資で生み出した新技術・新製品
- 経営課題と再建計画
- 再建後の事業方針と売上予想

シリウスビジョンが目指す近未来

シリウスビジョンのミッション、ビジョン、行動指針

ミッション

オンリーワン画像検査技術で世界の製品品質の向上に貢献し、
人々の生活に豊かさと幸福をもたらす

ビジョン

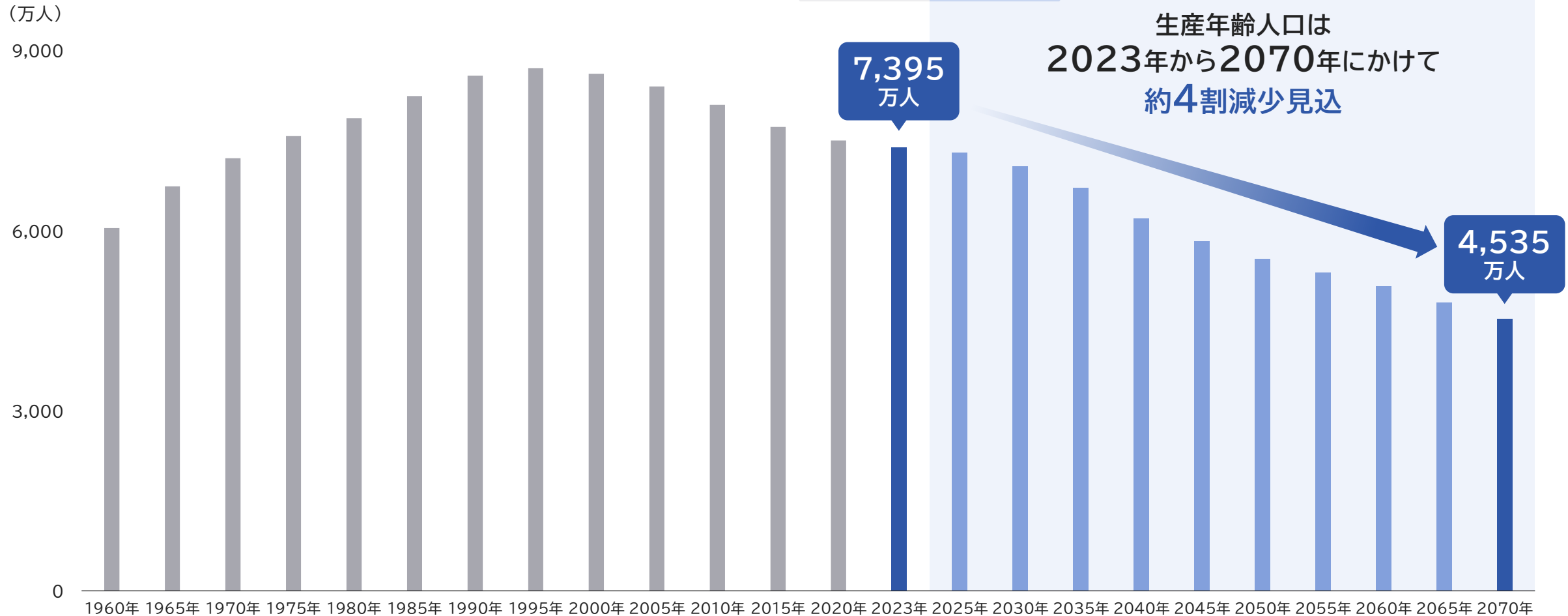
世界NO.1の画像検査システムを開発し
モノづくり現場の目視検査ゼロを目指す

行動指針

オンリーワン技術、ナンバーワン製品、ファーストワン行動

日本の労働人口推移

生産年齢人口(15歳～64歳)の推移



出典:内閣府 令和6年版高齢社会白書

モノづくり現場における目視検査ゼロをめざす理由

来たる労働人口減少時代に、独自の高精度画像検査技術でモノづくり現場の課題を解決

生産性向上



人の手による検査を
不要にすることで、
時間と労力を削減

品質の均一化



スキルや経験に
左右されない、
安定した検査品質を確保

検査員の負担軽減



検査作業に伴う
集中力の維持や疲労などの
負担を解消

シリウスビジョンのオンリーワン画像検査基幹技術とAI

過検知を究極まで抑制する画像検査基幹技術と熟練検査員同等の判断力を持つAIにより、目視検査をゼロに

過検知を究極まで抑制する画像検査基幹技術とAI

位置合わせ・伸縮補正

多点位置合わせと特殊差分によって印刷による伸縮・傾きと位置ずれを補正

● 伸び縮み、傾き

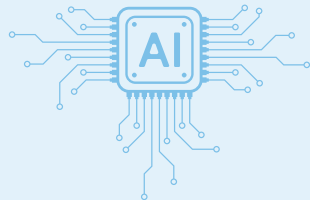


見当ずれ許容処理

良品範囲の見当ずれ・位置ずれは検出せず欠陥部のみ検出



画像検査基幹技術とAIの融合により
良・不良判定を自動化

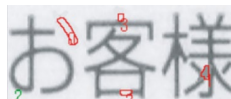


輪郭ファジー処理

独自の輪郭ファジー技術により、欠陥対象となるもののみ検出



太り・細りやばらつきのため過検知しやすい輪郭部



輪郭部にある欠陥をファジー処理により過検知せずに検出

非線形歪除去 スマートフィット

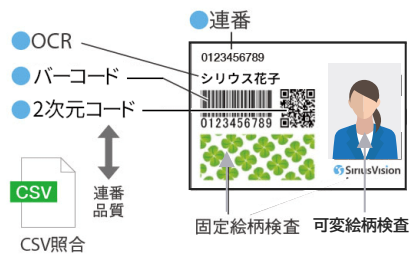
独自の非線形歪み除去処理により、局所的な伸縮や曲がり、歪を除去



可変印刷検査とグレード検証

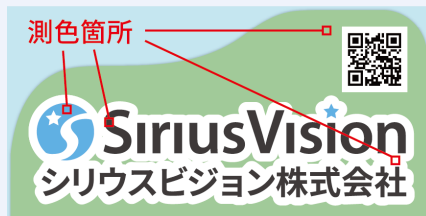
固定印刷面とバーコードなどの1枚ごとに異なる内容(可変印字)検査を同時に実行

※全可変検査とグレード検証も可能



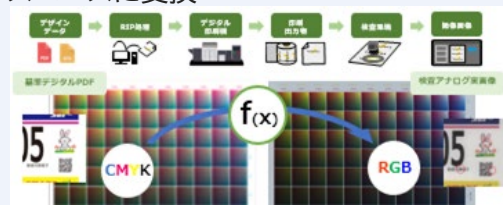
測色機能(ΔE・Lab*測定)

オペレーターが指定した任意の測色箇所の色情報を測定し数値で出力。
測定できる色情報は、RGB、S H Gray、CMYK、XYZ、Lab*、ΔEの17種類



色変換機能

デジタルのカラー画像データを検査目的に応じた特定のカラー空間に変換





シリウスビジョン再建計画

Sirius Restructuring Plan(SRP)

振り返り:2020年のシリウスビジョングループの主要事業

2021年までは既存の画像検査関連事業に加え、特殊印刷機に関わる事業を開発から販売まで自社内で実施

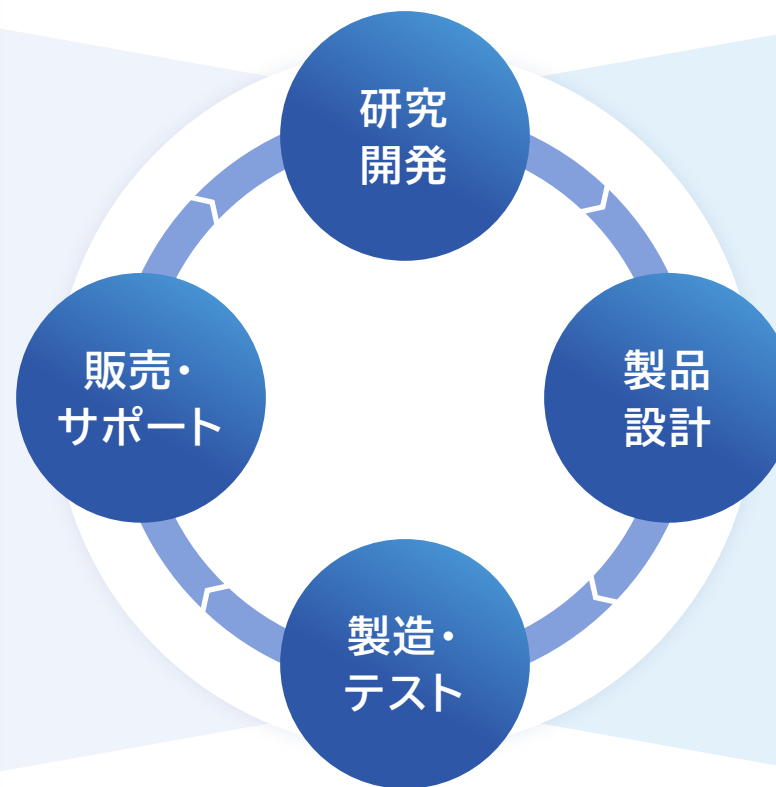
1966年事業開始 特殊印刷機関連事業

特殊印刷機・自動機事業

- 熱転写機・パッド印刷機
- 自動機・特注機

商品事業

- 熱転写関連資材
- パッド印刷関連資材



2011年事業開始 画像検査関連事業

画像検査事業

- 画像検査機
- 画像検版機

ソフトウェア事業

- 画像検査・検版
- IT・クラウド・WEB・IoT

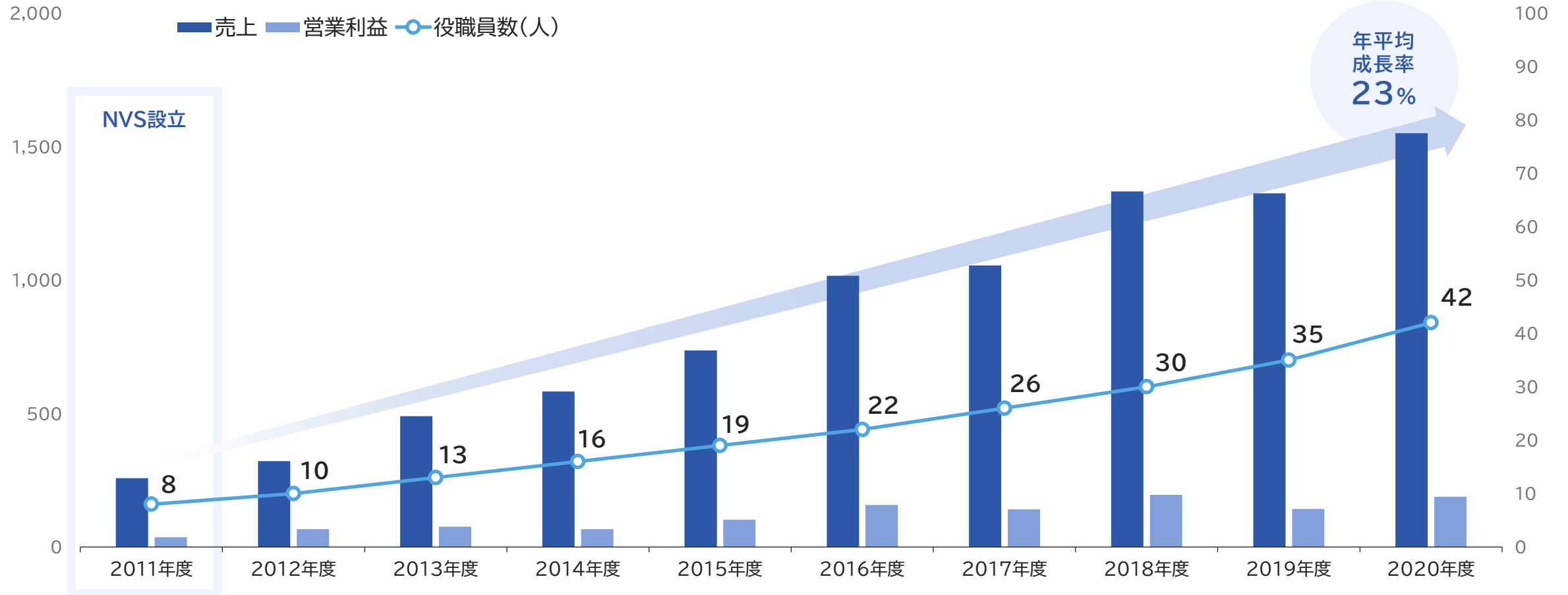
振返り: 特殊印刷機関連事業の譲渡と画像検査関連事業への選択と集中



振返り:2011年～2020年国内画像検査事業の業績(NVS)と役職員数

前身のナビタスビジョンソリューション(NVS)は少数体制でありながら、
売上は年平均成長率20%超という高い水準で推移

(百万円)

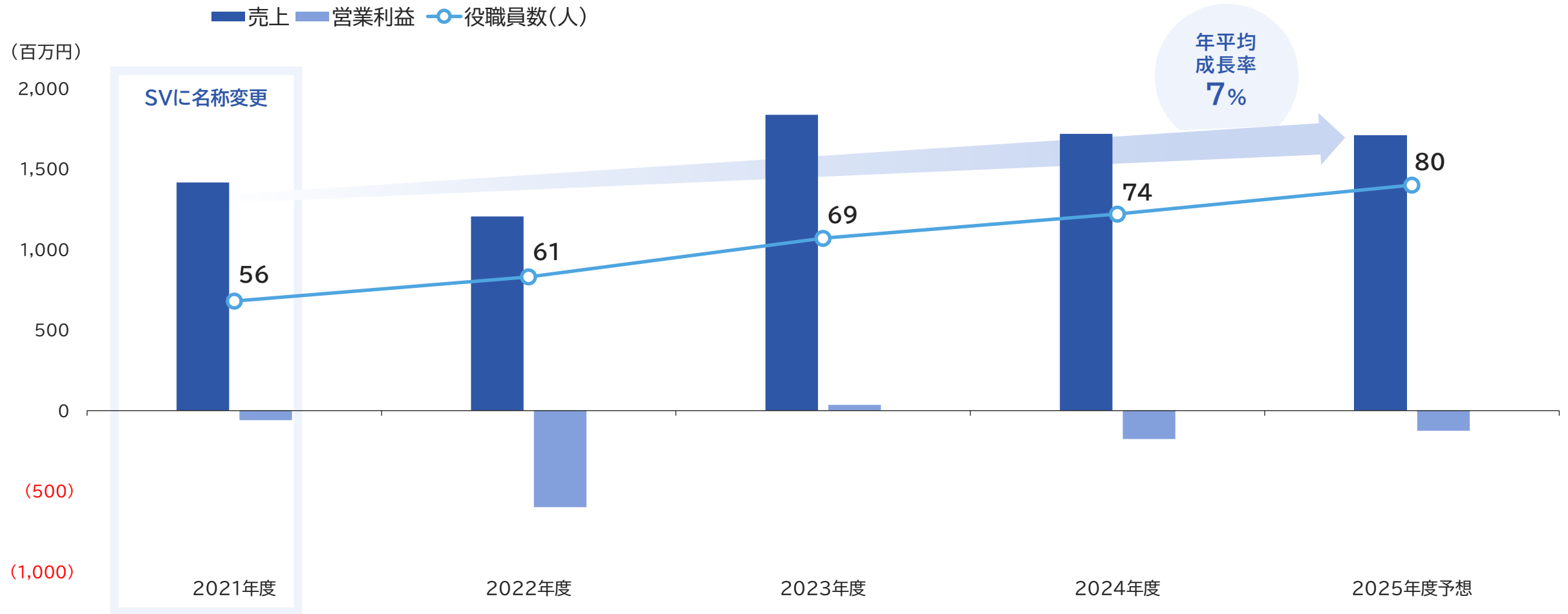


※ 2011～2019年度は3月決算の実績

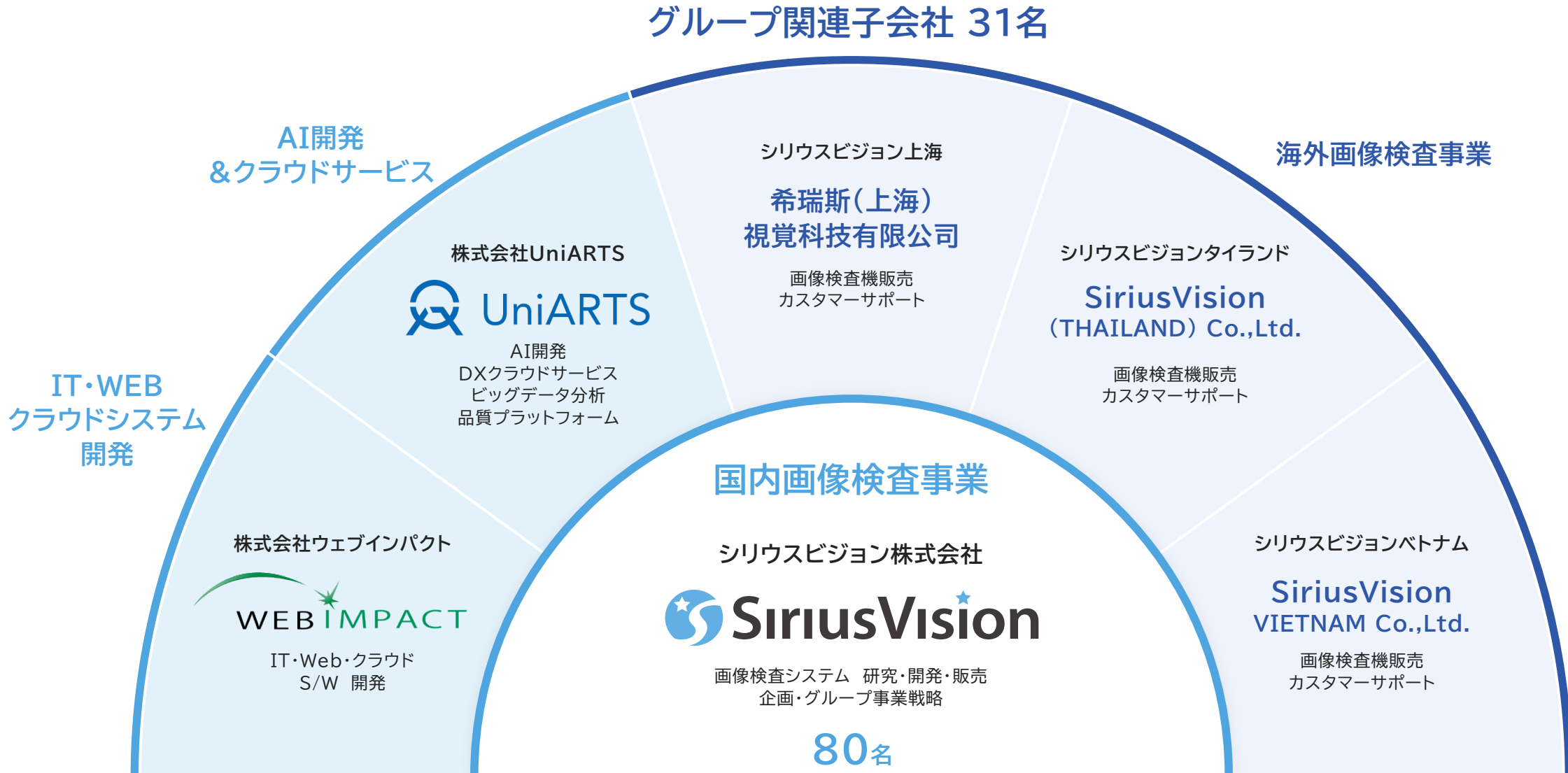
※ 2020年度より決算期が12月に変更となったため、1月～12月の実績を元に算出

振返り:2021年～2025年国内画像検査事業の業績(SV)と役職員数

シリウスビジョン(SV)への社名変更後、研究開発や技術者の人員増加を進めたが、売上の成長は鈍化傾向



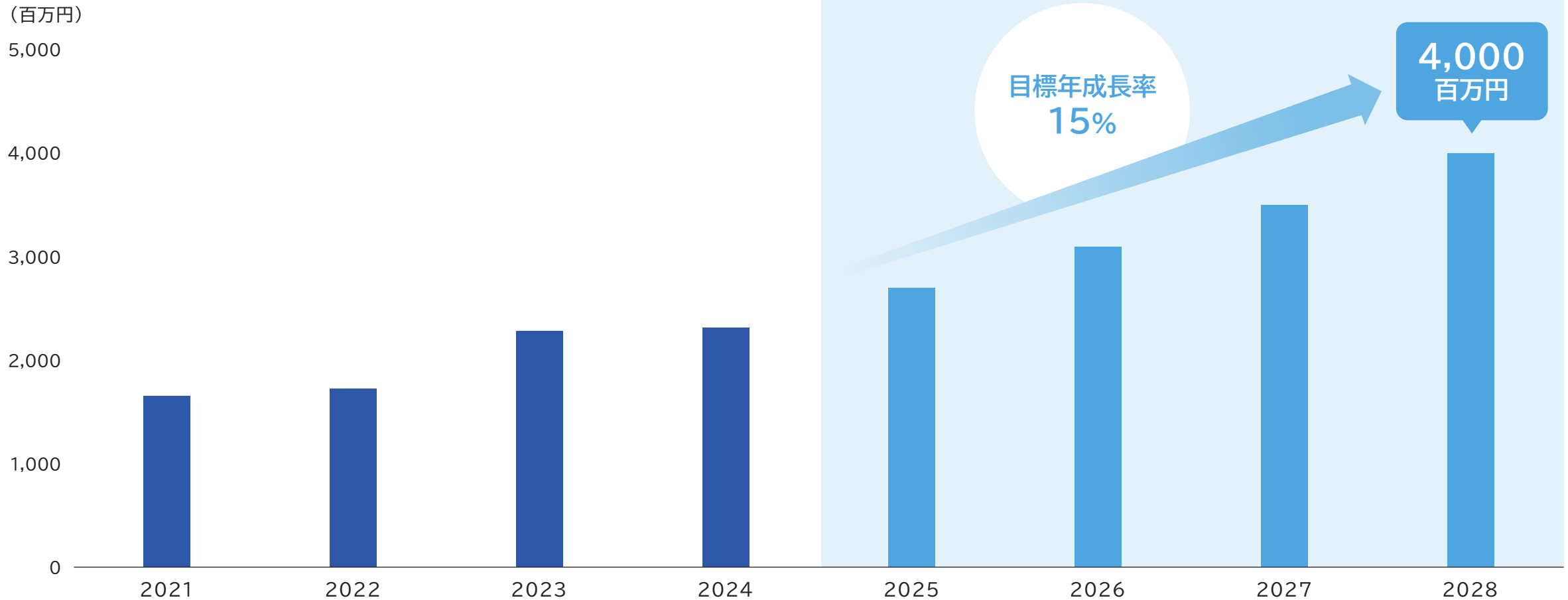
振返り:シリウスビジョングループ 総勢111名(2025.6.30)



振返り：2025年3月開示した中期経営計画(SIRIUS2028)における売上計画

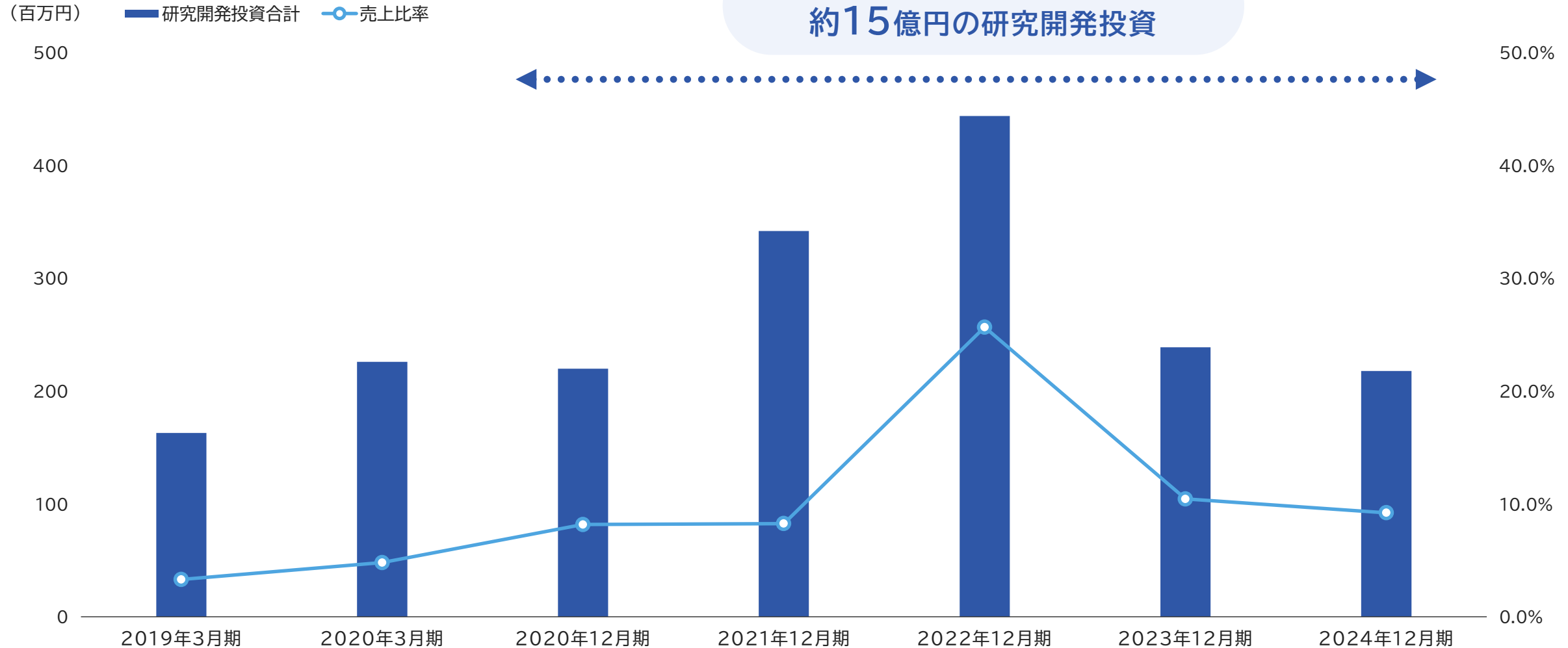
シリウスビジョングループ連結売上

国内・海外画像検査事業と
UniARTS社およびウェブインパクト社売上含む



参考: 中期経営計画(SIRIUS2028)に記載した過去7年間の積極的な研究開発投資

研究開発投資額と売上比率推移



振返り: 研究開発投資により生み出した独自技術を搭載した画像検査ソフトウェア

現場の課題解決へ向け、
常に進化を続ける

2011年リリース

多機能な基幹ソフト

 **FlexVision**

- ◆ 画像検査機能を2,000以上搭載
- ◆ 部分可変から全可変検査まで対応
- ◆ 検版機・データ校正機、ボトル・カード・電子基板・医薬品・電子部品・各種成形品の印刷・外観品質検査機など幅広い分野で利用可能

2016年リリース

操作性向上

 **AsmilVision**

- ◆ 直感的で簡単な操作性の実現
- ◆ ラベル・銘板・ビジネスフォーム・商業印刷品質検査機で利用可能
- ◆ 印刷特有の太り・細り・伸び縮み・見当ずれを適切に補正・許容し、過検出を徹底的に抑制

2022年リリース

幅広・高速印刷にも対応

 **PolarVision**

- ◆ これまでの製品より高速・高精度な画像検査を実現
- ◆ グラビア・紙器・パッケージ(ブランクス)・ビジネスフォーム・商業印刷品質検査機など、それぞれの分野に特化した簡易操作画面を用意

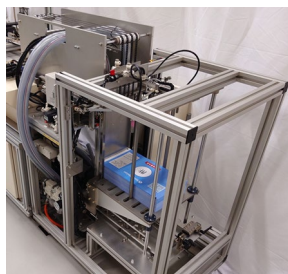
振返り: 研究開発投資により生み出した画像検査新技術とハードウェア

2021年～

研究開発チーム「VOSTEC」が開発した新技術・新製品

薄紙枚葉 搬送 / 集積機構

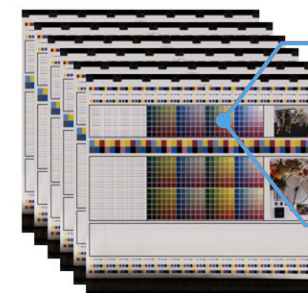
お酒や調味料容器に貼り付ける「薄紙製品」の搬送・集積機構



進化続けるインキ濃度測定技術

インキ量を変化させた印刷物

測定アルゴリズム



混色部 RGB値
(カメラ)

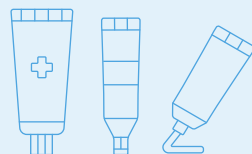
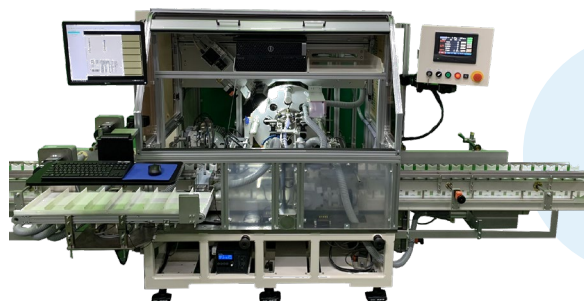
混色部 濃度値

誤差

濃色部 濃度値
(濃度計)

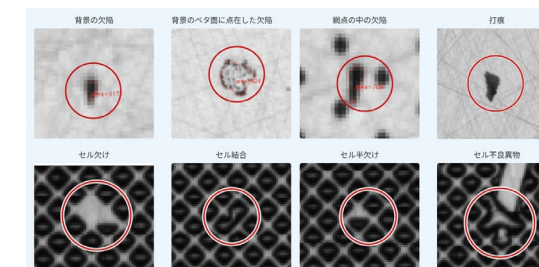
高速チューブ検査機

各種チューブ容器の印刷品質および外観品質を150本/分で高速検査



グラビアシリンダー版検査機「GRACE」

画像分解能2.5 μm /画素～10 μm /画素の高精細検査機



振返り: 研究開発投資により生み出した画像検査新技術とハードウェア

2021年～

コンパクトで廉価、導入したその日から誰でも使える簡単操作のスマート検査機(Smart Series)

Smart BOX



- ◆ なんでも検査
- ◆ どこでも検査
- ◆ 軽くて小さい

S-Cometへ進化

S-Con Smart



- ◆ 枚葉シート
- ◆ 印刷品質検査が手軽に

SALI



- ◆ 株式会社サトー様との共同開発
- ◆ サトー製ラベルプリンター用設定レス印字検査機

S-Scan LNC(リンク)



- ◆ 大ヒット商品
- ◆ 大判校正検版
- ◆ 抜き取り検査

S-Lab Smart



- ◆ コンパクト
- ◆ 縦軸ロールラベル
- ◆ 印刷品質検査

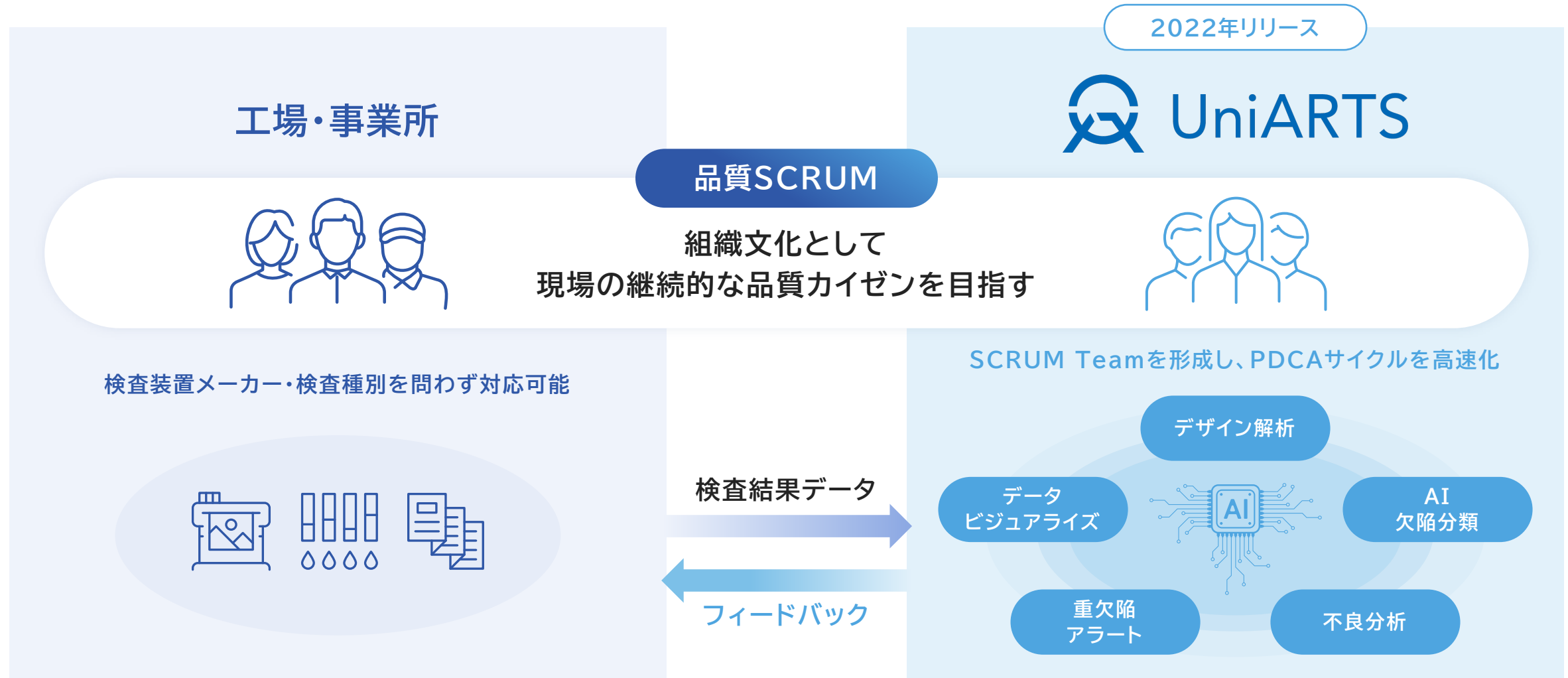
S-Lab-Combi



- ◆ プリンター連動
- ◆ 印刷品質検査機
- ◆ 可変/固定/絵柄
- ◆ 非連動検査も可

振返り:研究開発投資により生み出したクラウドサービス「UniARTS」

AI連携によって印刷工場DXを実現



研究開発投資により生み出した新型検査機「S-Comet」 2025.10.29リリース

2025年～

業界初※¹ 10ミクロンの高精細検査を実現。AI搭載で“目視検査ゼロ”へ
電子基板の卓上型品質検査機「S-Comet(エスコメット)」シリーズ ※1:軽量小型・高精細品質検査機(当社調べ)

S-Comet



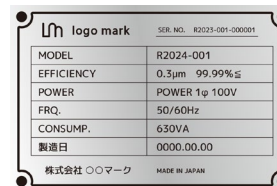
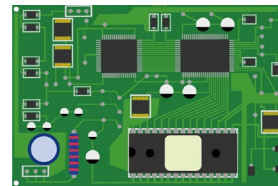
- ◆ A4サイズまで対応した標準モデル。
- ◆ コンパクトサイズで置くだけ、その場で検査
- ◆ AIにより目視検査ゼロを実現

S-Comet-BOX



- ◆ 自由度が高い仕様で検査対象に応じてカスタマイズ可能
- ◆ 検査困難な光沢製品の反りや浮き等にも対応
- ◆ AIにより目視検査ゼロを実現

項目	仕様
本体標準サイズ	400mm(W) × 400mm(D) × 470mm(H) 約10kg
検査対象サイズ	A4サイズまで(S-Comet) ※S-Comet BoxはA4～A3サイズまで(カスタム対応によりA3以上のサイズ可)
採用カメラ	エリアカメラ 300dpi～2400dpi 相当
分解能	10μm/画素～85μm/画素 ※分解能は検査視野に依存
照明	S-Comet:本体一体型LED照明(バックライト搭載) S-Comet Box:LEDフラットドーム、バックライト等
検査対象	電子基板、ウエハー、半導体、電子部品、銘板、ラベル、カード、 アクリルスタンド、各種部品・成型品



研究開発投資により生み出した新AI「Regulus」 2025.11.14リリース

2025年～



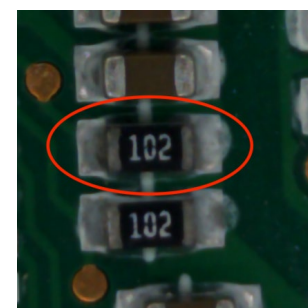
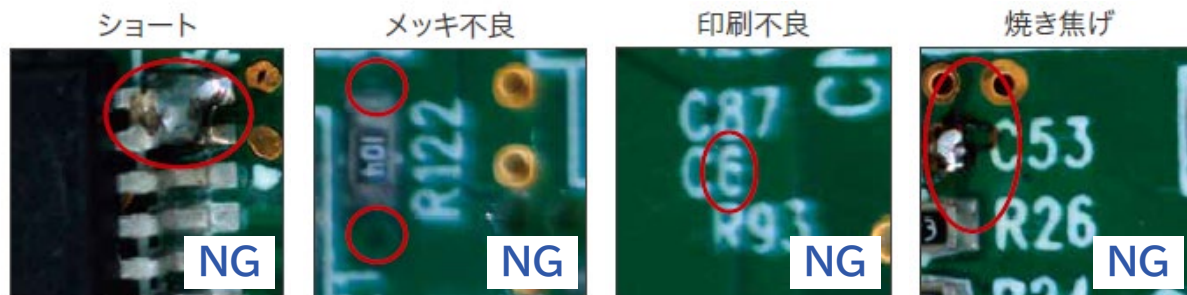
Regulus

業界初※1 学習不要※1の新AI「Regulus(レグルス)」を
卓上型品質検査機「S-Comet」に搭載

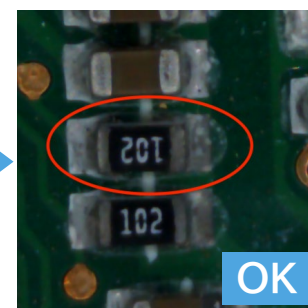
本AIで手間のかかる学習用不良品画像データ集めが不要に

※1:ユーザーによる学習が不要の外観品質画像検査用AI(当社調べ)

- ◆ ディープラーニング(深層学習)による学習モデルの作成が不要
- ◆ 目視検査員の良・不良判定基準を言葉で「Regulus」に指示しておくと、その基準どおりに自動検査可能
例:「チップ抵抗器の印字の向きが反転していても良品としてほしい」と言葉で指示すると、その指示に従って「Regulus」が良・不良を判定
- ◆ 電子基板とともに、半導体、電子部品、ウエハー、ラベル、銘板、ボトル、カード、化粧品、医薬・医療品、各種成形品の外観品質検査機や印刷品質検査機に搭載可能。これらの製品を製造する工場の生産自動化(ファクトリーオートメーション)に貢献

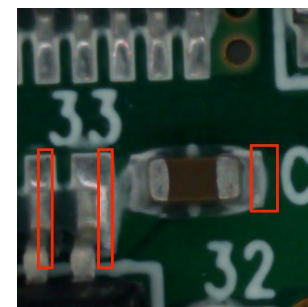


基準画像

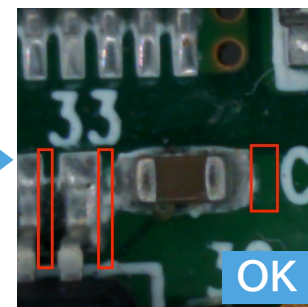


検査画像

チップ抵抗器の
上下反転を
Regulusが
良品と判定



基準画像



検査画像

電子部品の
位置ずれを
Regulusが
良品と判定

2021年～2025年の振返りと経営課題

国内画像検査事業の年平均売上成長率15%以上を目指し、
新製品・新技術のための研究開発投資と人材採用(国内人員倍増)で
5年間で合計約15億円の先行投資

- ◆ 営業人材育成の遅れに伴う新製品の販売遅延および主力のラベル市場における設備投資低迷により、年平均売上成長率は7%に留まる
- ◆ 社員急増によるピラミッド組織化と管理と人事の問題、育成した人材の退職
- ◆ 新型コロナウイルス発生時の電子部品長納期問題に伴う長期在庫保有と売上計画未達で、資金繰りが厳しい状況に
- ◆ 海外(中国・ASEAN)事業も低迷が続き、海外人員はリストラ実行、1/2に削減

経営課題に対するSRP(事業再建計画)アクション

経営課題

成長に向けた研究開発や人材への積極投資をおこなったが、
売上計画は未達となり、営業収支と在庫管理の問題が資金状況に影響を与えた

SRPアクション

1

役員報酬削減

代表取締役3割、
取締役2割、他

2

事務所コスト削減

渋谷オフィス解約、
横浜ラボと
大阪技術センター再編

3

研究開発凍結

受注案件の原価となる
開発のみ実施

4

海外事業縮小

国内画像検査事業に
集中

5

人員削減

希望退職者募集によって
20人削減(25%減)

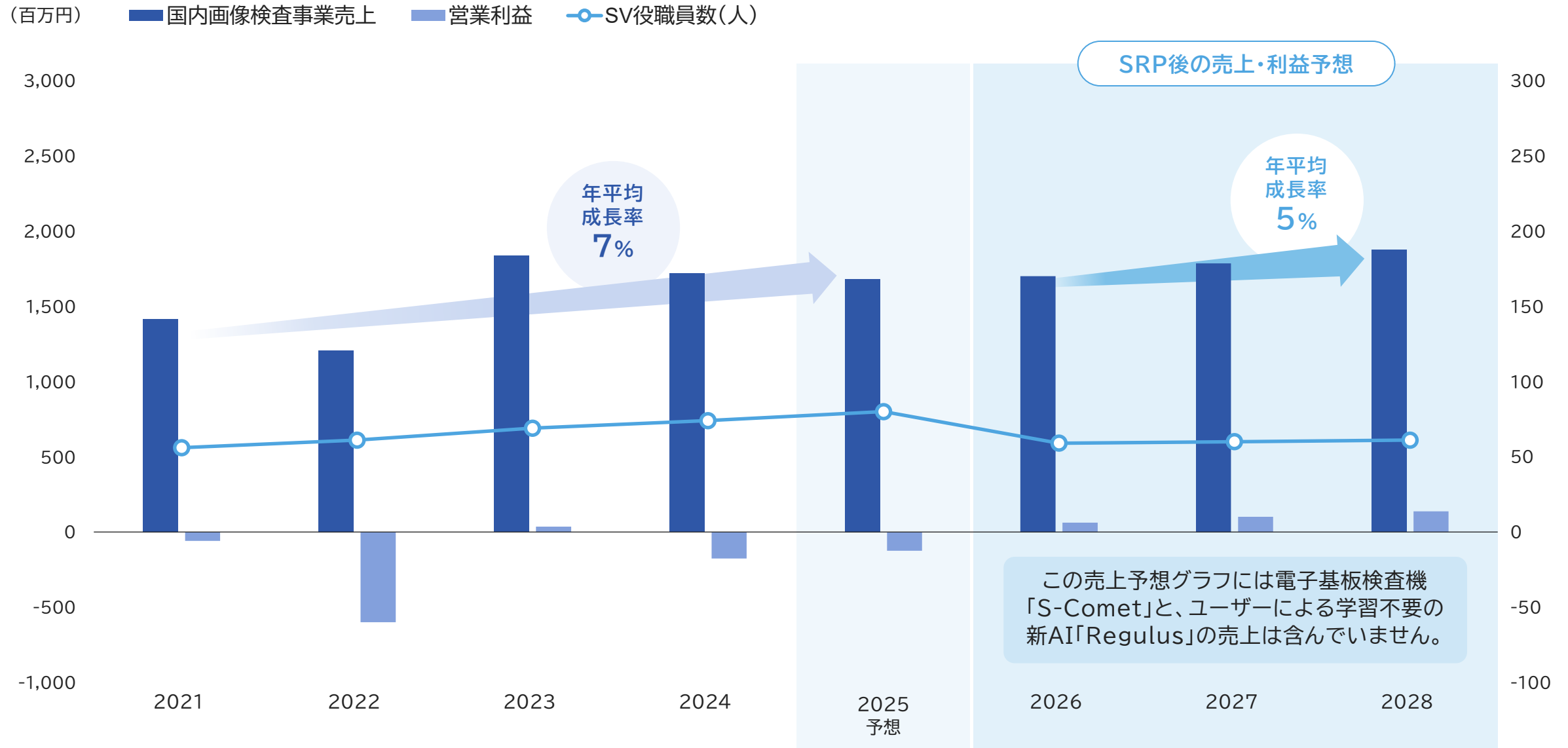
6

役員人事変革

若手世代による
経営体制へ

2026年12月期 年間販管費の削減予想額
150百万円以上

SRP(事業再建)後の国内画像検査事業売上予想



2026年画像検査事業基本方針

国内画像検査事業の目標

◆ 60名体制で2025年12月期同等の売上を達成することにより黒字転換を目指す

※現中期経営計画を見直し、2026年2月に修正した中期経営計画を発表予定

画像検査事業の選択と集中

◆ 集中市場：印刷市場の中の成長分野に集中

- 成長分野：検版、ラベル、銘板、ボトル、カード、ブランクス（紙器・パッケージ）検査市場に集中
- 対象ソフトウェア：AsmilVisionとFlexVision検査機販売に注力、PolarVisionはブランクス検査機に注力

◆ 開拓市場：電子基板・半導体、ウエハー検査市場を開拓

- 戦略商品：卓上型品質検査機「S-Comet」で電子基板・半導体検査市場開拓
- 新技術：ユーザーによる学習不要の新AI「Regulus」で目視検査ゼロを実現

検査本部の受注・売上体制強化

◆ 組織再編：ソフトウェア開発部門、装置技術開発部門、企画部門を検査本部に統合

◆ 稼ぐ組織：検査本部ワンチームとなり受注・売上・技術サポートに集中

2026年画像検査事業基本方針

海外事業縮小・撤退

- ◆ バトナムとタイ:画像検査事業はタイに集約、少人数体制で黒字化
- ◆ 中国:リストラによる小人数体制で黒字化
 - 既存顧客サポートに注力、営業はソフトウェア販売に集中
 - 中国装置メーカーとのコラボとマーケティング活動

横浜ラボと大阪技術センターの集約

- ◆ 2拠点を1か所に集約しコストを1/2に低減

新製品・新技術リリース

- ◆ 印刷検査市場と半導体・電子基板検査市場の目視検査をゼロにする新製品・新技術リリース
 - 小型卓上検査機S-Comet(10月)、学習不要新AI Regulus(11月)、超高精細歪補正技術MicrosFit(26年1月)

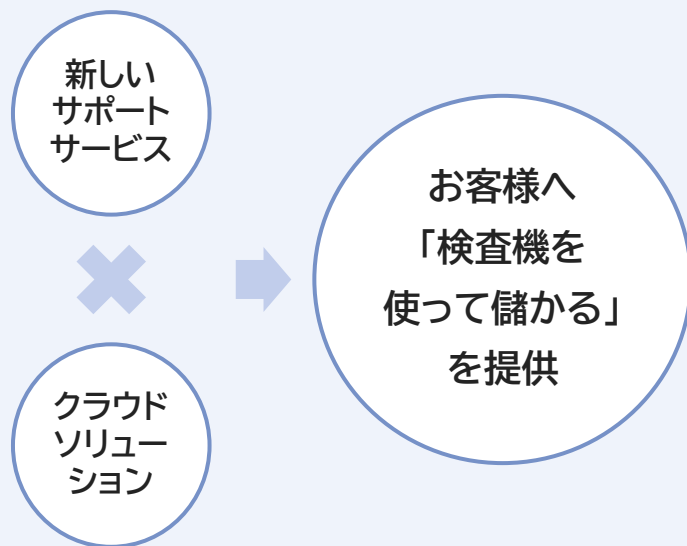
顧客向けソフトウェアサポートサービス

- ◆ 顧客満足度向上のためのサービス提供ができる仕組み構築
- ◆ 全体最適による業務の標準化
- ◆ サービス提供コストの回収と収益改善

収益構造改革

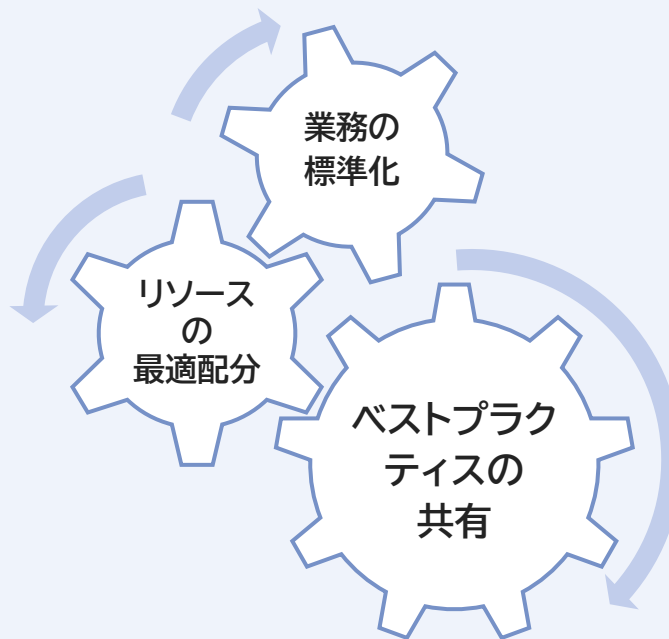
検査機の単発売上依存から脱却し、定期収益を強化し、収益基盤の安定化を図る

お客様への価値提供・CS向上



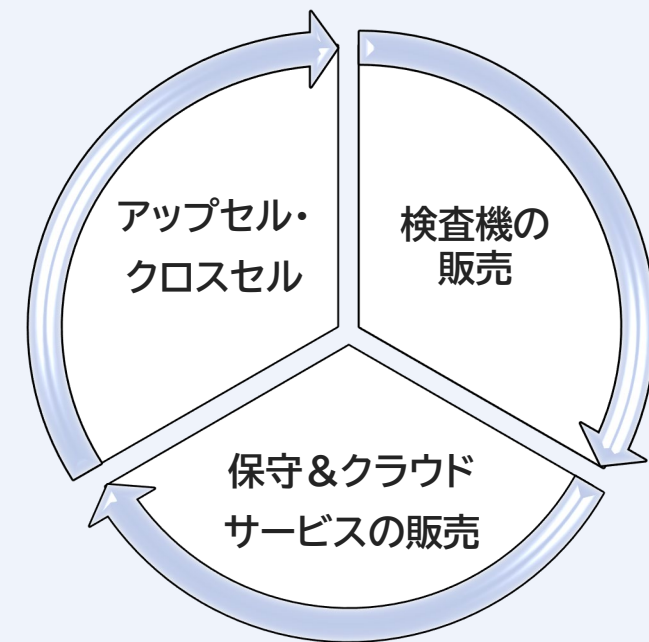
サービス提供ルールを再整備し、UniARTS Lite版を付帯サービスとして提供開始

持続可能な仕組みづくり



属人化から脱却し、CRMシステムの改修開発により、サービス提供状況の可視化と一元管理を実現

企業価値の創造



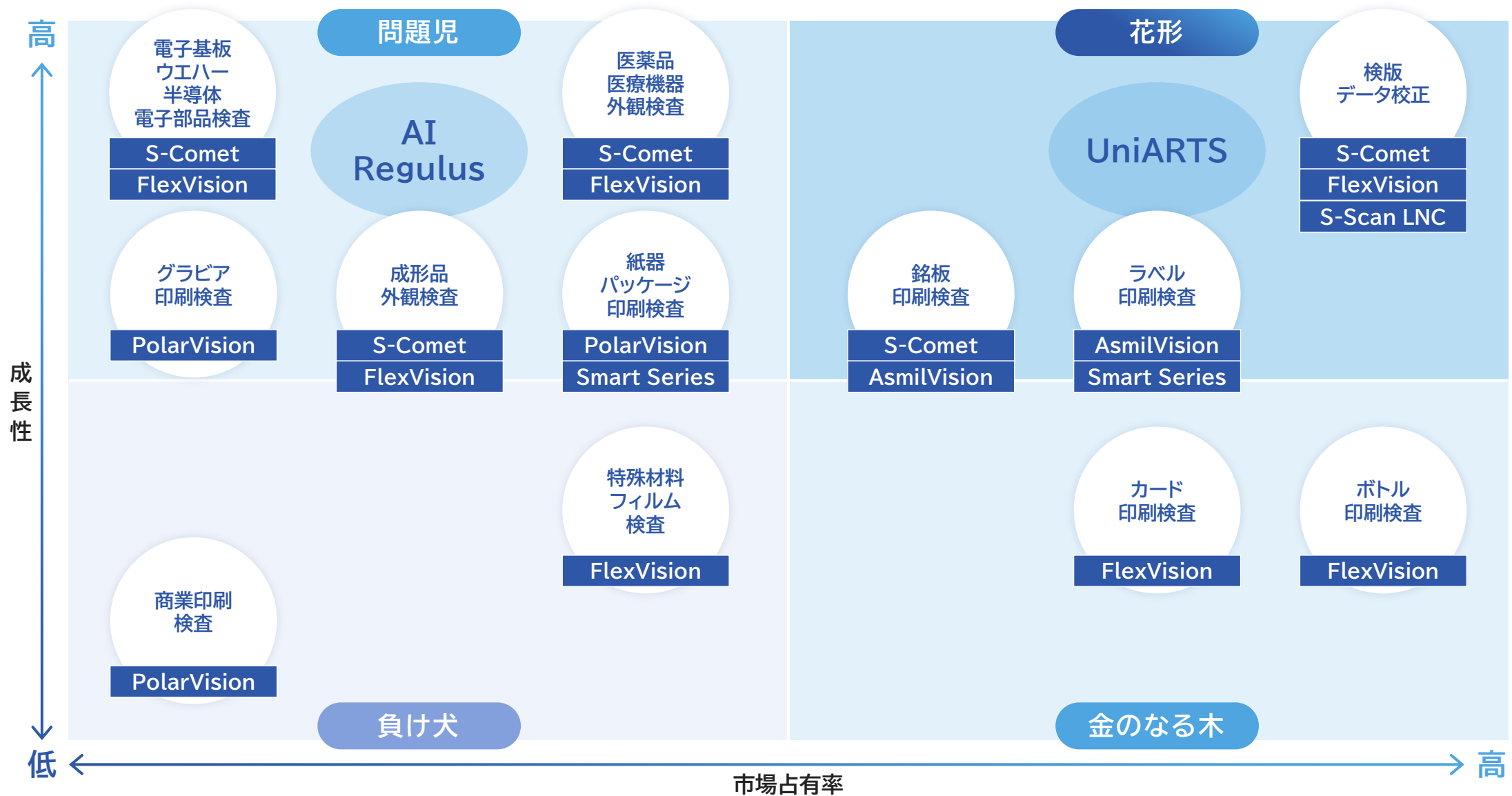
顧客価値の継続提供から
LTVとNRRの向上へ

LTV: ライフタイムバリュー
NRR: ネット・レベニュー・リテンション



シリウスビジョンが目指す近未来の姿

シリウスビジョンのプロダクトポートフォリオ: PPM分析



目標達成のための指針

探索

新製品・新技術の
「探索」
により新市場開拓

パイオニア精神で
新規顧客売上シェアの
増加を目指す



深化

既存技術・標準機の
「深化」
により既存市場へ浸透

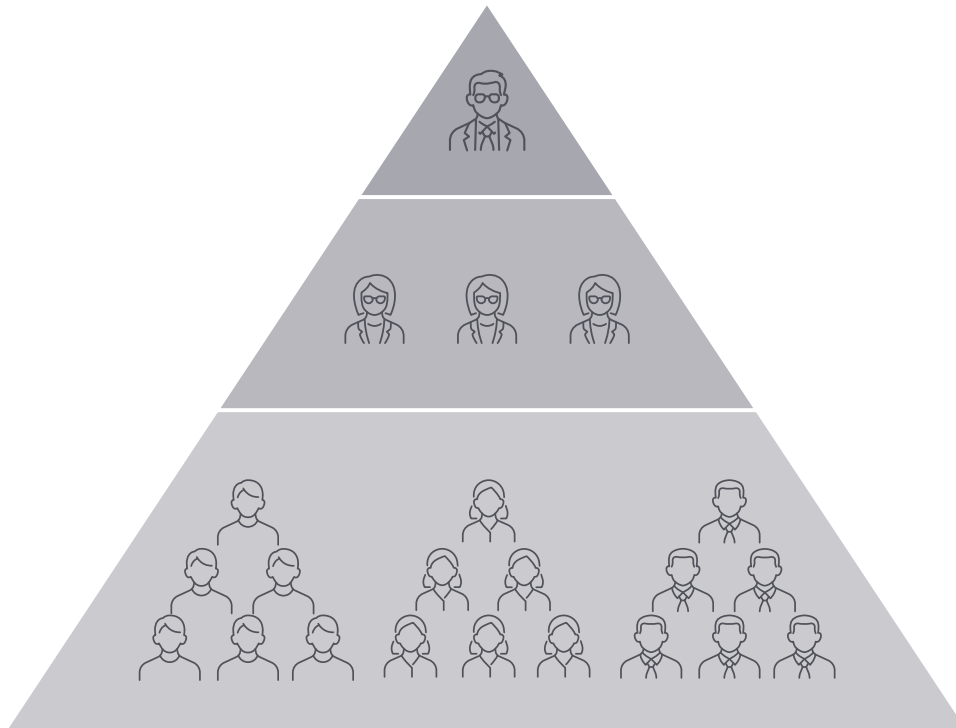
既存顧客のリピート、
標準機販売シェアの
増加を目指す

モノづくり現場の目視検査をゼロに

ピラミッド組織からアジャイル型組織へ

ピラミッド型組織

- ◆ トップダウンによる意思決定
- ◆ 権限・責任の一極集中
- ◆ 数値や案件を管理するワークマネジメント



アジャイル型組織

- ◆ 現場主導による意思決定
- ◆ 権限・責任の自立分散
- ◆ 人のやる気を引き出し任せるピープルマネジメント

部門横断的なチーム編成



意思決定の
迅速化

イノベーションの
創出

顧客価値の向上

人材育成

シリウスビジョンが目指す近未来の姿

指針

- ◆ オンリーワン画像検査関連技術で目視検査ゼロを目指し、世界の製品品質向上と生産工場自動化に貢献する
- ◆ 画像処理技術とAI・クラウドサービス技術で“探索と深化”
 - 電子基板検査市場は“探索”、印刷検査市場は“深化”により、シリウスビジョンのオンリーワン画像検査技術が活きる市場に浸透

目標

- ◆ 配当＝復配(10円以上)、流通株式時価総額＝30億円以上
- ※ 業績目標については、2026年2月に発表する修正中期経営計画に記載

若手経営と働きやすい職場環境創り

- ◆ 30歳台-40歳台が中心の経営体制、社員平均年齢は30歳台を目指す
- ◆ 「平等性」・「透明性」・「安心性」・「適応性」を追求
- ◆ 4つの毒素(「非難する」・「守りの姿勢」・「壁を作る」・「侮辱する」)を排除し安全・安心・健康が維持できる職場環境を創る

ありがとうございました

